

プログラムの特徴

*全国どこからでも受講可能です。集中的に山口大学でのHands-on臨床実習・グループディスカッションの講義時間はありますが、事前自己学習・症例ディスカッション・レポート作成についてはe-ラーニングなどITを活用した授業形態ですので夜間など、自分の都合のよい時間帯に講義を受けることができます。

*1年間で120時間の授業の受講が必要です。なお、120時間のプログラムを修了すると、山口大学から学校教育法に基づく履修証明書が発行されます。取得した履修証明書は履歴書や名刺に記載できます。

*正式名称：山口大学共同獣医学部履修証明プログラム「馬救急医療実践力育成プログラム」修了認定

*このプログラムは、12月に募集開始します。4~7月に事前自己学習として馬救急医療に必要な知識についてe-ラーニングを用いて40時間学修します。8月には集中実習として山口大学で、馬救急医療Hands-on臨床実習を40時間ならびにグループディスカッションを10時間実施します。9~12月にe-ラーニング（IT活用）を用いた症例ディスカッションを10時間とレポート作成を20時間を履修します。

Hands-on臨床実習（集中実習）の概要

1：目標 馬の救急医療に必要な知識および技術をHands-onプログラムを通して学び直しましょう。

2：対象 獣医師（経験者・未経験不問）

3：定員 10名

4：期間 2026年8月17日（月）から8月21日（金）

5：場所 山口大学共同獣医学部3F4番講義室、産業動物診療室、馬場等

6：持参品 白衣、術衣など・長靴・帽子・聴診器・秒針つき時計。

7：備考 実習の生体材料の準備の都合上、モデル、屠体を用いた実習となることがあります。

8：講師

山口大学：佐々木直樹（コーディネーター） 外部講師：山田一孝（画像診断・麻布大）

高木光博・谷口雅康（繁殖）

兼子樹広（循環器・元BTC）

上林聰之・砂原央（循環器）

村瀬晴崇（繁殖・JRA日高育成牧場）

櫻井優・吉崎 韶子（病理）

佐藤正人（眼科・NOSAIみなみ）

井芹俊恵（麻酔・東京農工大）